



守山市 記者提供 資料

令和5年7月28日

担当部署 総合政策部 人権政策課
 担当者 社納・貝増
 電話 077-582-1116（直通）
 FAX 077-582-0539
 e-mail jinkenseisaku@city.moriyama.lg.jp

平和行事のご案内

戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代へ伝承し、世界の恒久平和を願う場として、平和行事を開催します。

1 平和のよろこび展 （平成4年以降31回目）

日時 8月2日（水）～8月9日（水） 午前9時～午後5時（受付終了：午後4時30分）
 ※最終日は正午まで、休館日なし
 場所 守山市民ホール 展示室（守山市三宅町125）
 内容 遺品展：戦争を物語る遺品の展示
 企画展：守山空襲、立田飛行機墜落（証言集）
 特別企画展：ジョー・オダネル「ナガサキ写真展」、フィリピンの戦場Ⅱを展示、
 沖縄地上戦と証言集（DVD上映）します。

2 平和を誓うつどい （平成9年以降27回目）

日時 8月6日（日） 午前8時10分～8時50分
 場所 守山市民運動公園内 平和の広場（守山市三宅町100）
 内容 ・小中学生や市、遺族会などが出席する、恒久平和を願う式典です。
 ・原爆投下時刻に合わせた黙禱や、平和の誓いの朗読（明富中学校 下村 心結さん）、
 小中学生が作った折り鶴を捧げます。

3 平和の鐘 （平成19年以降17回目）

日時 8月15日（火）正午
 内容 終戦記念日の正午に市内の寺院111ヶ寺が一斉に鐘を鳴らし、平和の尊さを知らせます。
 取材担当寺院 善慶寺（ぜんきょうじ）下之郷2丁目10-16（TEL 077-582-4117）
 住職 浅野 真哉（あさの しんや）さん
 備考 当日、取材が可能です。住職による法話はありません。近隣の子どもによる鐘つきは実施予定です。駐車場あります。

令和 5 年度



平和行事のご案内



平和のよろこび展

平和の尊さを次世代へ語り継ぐために、戦争体験者の遺品や手紙、写真、資料などを展示します。

また、企画展示「守山空襲」と特別企画展示「ジョー・オダネル『ナガサキ写真展』」、「沖縄地上戦と証言集」、「フィリピンの戦場II」を同時開催します。当時の様子を肌で感じてみてください。

日時 8月2日(水)～8月9日(水) 9:00～17:00

会場 守山市民ホール 展示室 (受付: 16:30 まで)

※最終日は正午まで、休館日なし

企画 / 守山市・守山市遺族会

協力 / ジョー・オダネル写真展実行委員会、滋賀県平和祈念館



©Joe O' Donnell 1995

平和を誓うつどい

広島の実験投下時刻にあわせて黙禱を捧げます。小中学生が心を込めて折った鶴を献鶴し、共に平和を祈りましょう。

日時 8月6日(日) 8:10～8:50

会場 守山市民運動公園 平和の広場 (ほたるの森資料館の隣)

※手話通訳あり

主催 / 守山市



平和の鐘

市内の111カ寺において、終戦記念日の正午に一齐に鐘を鳴らします。戦没者に思いを馳せ平和の道を歩みましょう。

日時 8月15日(火) 正午

会場 守山市仏教会各寺院

主催 / 守山市仏教会 協賛 / 守山市

守山市民運動公園の平和の広場 (ほたるの森資料館の隣) に広島、長崎からいただいたモニュメントを設置しています。



広島被爆石



平和の祈り像



長崎被爆2世柿の木

お問い合わせ先

守山市総合政策部人権政策課 〒524-8585 守山市吉身二丁目5番22号



077-582-1116



077-582-0539



jinkenseisaku@city.moriyama.lg.jp

第31回 平和の よろこび展

入場
無料

どなたでも
ご覧いただけます。

平和の尊さを次世代へ語り継ぐために、戦争体験者の遺品や手紙、
写真、資料などを展示します。

●日時 / 令和5年

8月2日(水)～8月9日(水)
9:00～17:00 (最終日は、正午まで)
(受付終了:16:30)

●会場 / **守山市民ホール 展示室**

遺品展：戦争を物語る遺品の展示

企画展：・守山空襲展
・立田飛行機墜落(証言集)

特別企画展：

- ・ジョー・オダネル「ナガサキ写真展」
- ・沖縄地上戦と証言集
- ・フィリピンの戦場Ⅱ
(滋賀県平和祈念館 第31回企画展示パネル借用)

●企画 / 守山市、守山市遺族会

●協力 / ジョー・オダネル写真展実行委員会
滋賀県平和祈念館

特別企画展

ジョー・オダネル
「ナガサキ写真展」



「焼き場に立つ少年」

©Joe O'Donnell 1995

1945年、若い米軍の兵士ジョー・オダネルがヒロシマ、ナガサキほか焦土の日本を記録した。戦争の惨禍を我が痛みとして受けとめ、日本人への哀惜と共感を込めシャッターを切り続けた。当時の様子の写真パネルを展示します。



日章旗



フィリピンの戦場Ⅱ
(滋賀県平和祈念館 第31回企画展示パネル)